



那 都 都 第 198 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

那覇市長 翁 長 雄 志



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、平成20年9月19日付け、国道企第37号によるみだしのことについて、下記の通り回答しますので、よろしくお願いします。

記

- 1 今後の道路行政についての意見・提案の提出について
別紙、回答様式のとおり
- 2 提出期限 平成20年10月20日
- 3 提出先 内閣府 沖縄総合事務局 南部国道事務所
- 4 担 当 那覇市 都市計画部 都市計画課
主 査 玉那覇 有栄
主 査 金城 貫俊

連絡先 T E L : 098-951-3246
F A X : 098-951-3245
E-mail : 4282lyuue@neo.city.naha.okinawa
46345kans@neo.city.naha.okinawa

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

沖縄県那覇市

- ・長期未着手の都市計画道路について、真に必要な道路と必要性の低い道路をきちんと区別し、必要な道路は早期に事業化し、必要性の低い道路については見直していく必要がある。
- ・中心市街地付近の渋滞緩和に効果のある幹線道路や補助幹線道路に予算を手厚く配分してもらいたい。
- ・全国一律の整備手法、一律の道路構造令を改め、地域特性を考慮した整備手法等を補助工事でも認められるように範囲を拡充することを要望する。(沖縄は、日本国内で唯一の亜熱帯気候に属することから、道路については、街路樹を植栽するスペースを十分にとることにより、緑陰のある歩行者にやさしい空間づくりを行えるようにしてほしい。)
- ・歩行者・自転車の走行空間整備等に繋がる道路整備を促進してほしい。
- ・LRTなどの次世代型路面電車に対する補助制度が充実してきているが、モノレール等も含めて、運営や管理費などについても補助制度が充実することになれば、公共交通の発展に繋がると考える。
- ・道路、橋梁、モノレール等の管理費についても、地方都市の財政を圧迫し、大都市と比べると、格差が生じていると考えることから、補助制度の拡充が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式 ②

沖縄県那覇市

○現状 ・幹線道路が未整備であることから、交通渋滞を招いている。 ・日本国内で唯一の亜熱帯気候に属する沖縄県は、道路について、街路樹を植栽するスペースが十分でないことから、歩行者にとって、緑陰のある歩行者にやさしい空間づくりを行っているとは言いがたい。 ・今後のコンパクトシティを実現するためには、モノレール等の運営、管理費などについても補助制度が充実することになれば、公共交通の発展に繋がると考える。 ・道路、橋梁、モノレール等の管理費についても、地方都市の財政を圧迫している。	○課題 ・コンパクトシティを実現するため、那覇都市圏、特に那覇市の中心市街地の渋滞緩和に寄与する環状道路や幹線道路等の整備促進。（２環状７放射の実現、那覇北道路、那覇インターアクセス道路等） ・全国一律の整備手法や一律の道路構造令を改めて、地域特性を考慮した整備手法等を補助工事でも認められるように範囲を拡充することが課題であると考え。 ・大都市以外の地方都市の多くは、公共交通が脆弱であり、交通事業者が生き残るために、採算の合わない路線の切捨てに繋がっている。 ・道路、橋梁、モノレール等の管理費についても、地方都市の財政を圧迫し、大都市と比べると、格差が生じていると考えことから、補助制度の拡充が課題であると考え。
---	--

②－２ 地域の目指すべき将来像

沖縄県那覇市

- ・クルマに頼り過ぎない生活を実現するために、カーフリーデーに関連するイベント等に取り組んでおり、今後、「誰もが、いつでも、まちのどこへでも、移動しやすい」交通の実現に向け、鋭意取り組んでいく。
- ・沖縄は、日本国内で唯一の亜熱帯気候に属することから、道路については、街路樹を植栽するスペースを十分にとることにより、歩行者にとって緑陰の多い、やさしい空間づくりが必要であると考えます。
- ・コンパクトシティを実現するために、那覇都市圏、特に那覇市の中心市街地の渋滞緩和に寄与する環状道路や幹線道路等の整備促進（２環状７放射の実現、那覇北道路、那覇インターアクセス道路等）する。
また、中心市街地には、クルマ以外の手段で訪れることが便利なるよう公共交通を充実し、歩行者や自転車でも快適に移動できるように歩行者及び自転車走行空間も整備する。極力通過交通を入れないソフト的な施策や仕組みづくりにも併せて取り組む。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

沖縄県那覇市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
誰もが移動しやすいまちをつくる	・多様な移動手段の環境整備 ・公共交通の利便性の向上 ・自動車交通量の抑制 ・自転車走行環境整備	・多様な移動手段のための環境整備が促進される。 ・公共交通の利便性の向上や自動車交通量の抑制を行うことにより、利用者が増え、結果、交通渋滞の緩和、CO₂の減といった環境の改善に繋がる。	
体系的な道路網をつくる	・幹線道路などの整備 ・身近な生活道路の整備 ・交通渋滞の緩和に向けた諸機関との連携	・広域幹線道路や空港・港湾などの施設を結ぶ国・県道の整備促進することにより、交通渋滞の緩和、CO₂の削減といった環境の改善に繋がる。 ・幹線道路が整備されることにより、生活道路を通過する交通が減少し、環境が良くなる。	